

3 健康状態

(1) 主な疾病・異常の被患率

疾病・異常等のうち主なものについてその推移をみると表のとおりである。

・被患率第1位は、幼稚園及び小学校が「むし歯(う歯)」、中学校・高等学校では平成24年度以降「裸眼視力1.0未満の者」が第1位となっている。

・「むし歯(う歯)」は各校種とも減少しているが、「裸眼視力1.0未満」は小中高で増加、その他の疾病・異常は概ね横ばいの傾向にある。

(単位：%)

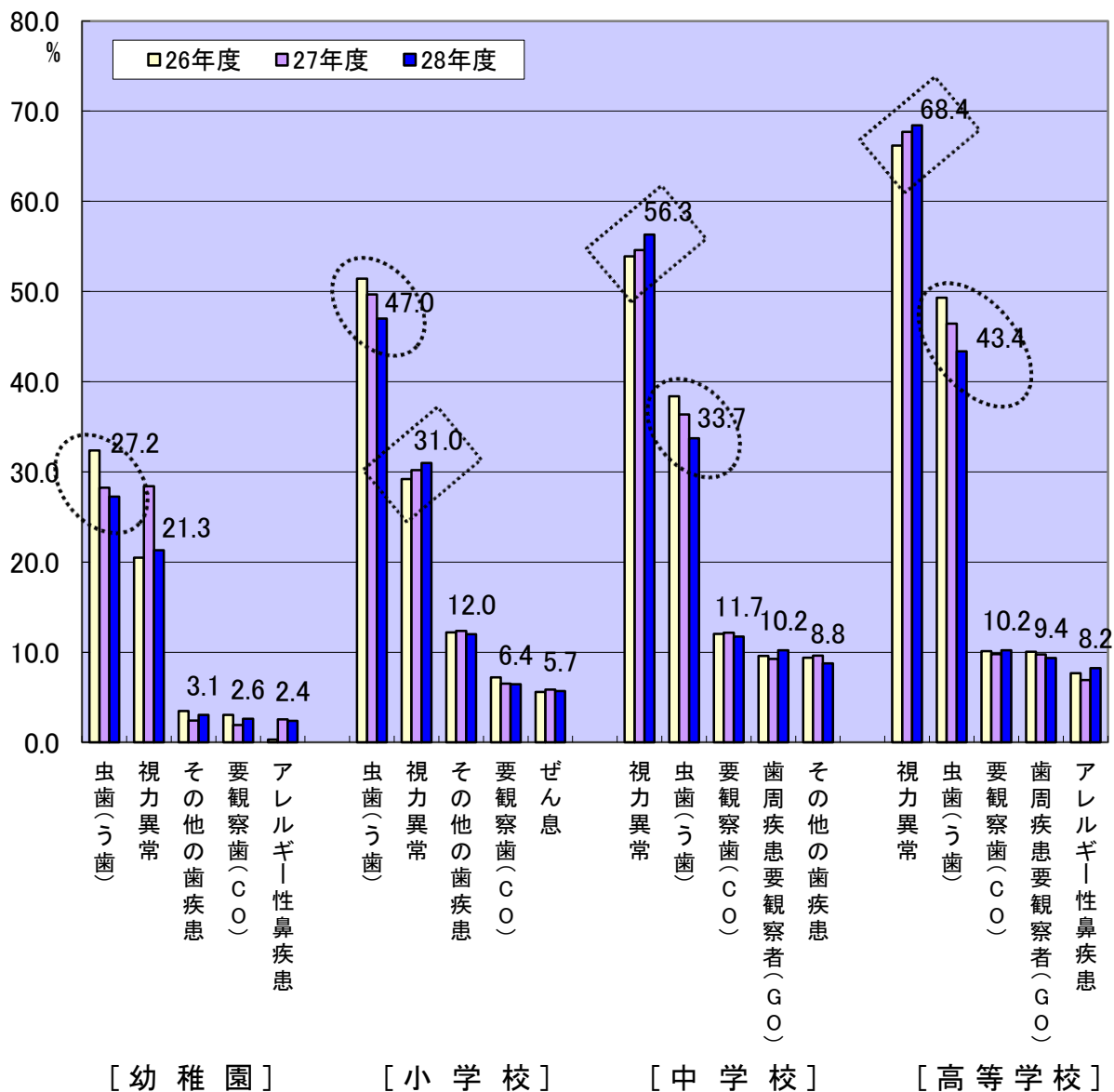
区分		むし歯(う歯)	アレルギー性皮膚疾患	ぜん息	裸眼視力1.0未満	心電図異常	蛋白検出	せき柱・胸郭・四肢の状態	耳疾患	鼻・副鼻腔疾患	アレルギー性鼻疾患	口腔咽喉頭疾患・異常
幼稚園	平成 18	49.4	2.5	1.2	33.5	-	0.2	(0.2)	1.8	3.4	2.4	2.8
	24	39.5	2.1	2.6	28.2	-	0.5	(0.1)	0.5	1.6	0.6	1.3
	25	35.6	2.7	1.9	27.4	-	0.3	(0.1)	1.0	2.5	1.1	0.7
	26	32.4	1.5	0.9	20.5	-	0.2	(0.1)	1.0	2.0	0.3	1.0
	27	28.2	1.0	2.1	28.4	-	0.0	(0.2)	1.0	2.0	2.6	1.1
	28	↓27.2	1.2	1.8	↓21.3	-	0.7	1.1	1.3	1.1	2.4	0.9
平成 28 年度 全国		35.6	2.4	2.3	27.9	-	0.7	0.3	2.8	3.6		1.1
小学校	平成 18	67.8	3.9	4.4	26.1	3.0	0.4	(0.2)	4.0	5.8	4.8	0.5
	24	54.2	4.5	5.8	29.6	2.2	0.3	(0.5)	5.2	5.9	5.4	0.6
	25	53.1	4.5	5.8	29.0	1.9	0.3	(0.4)	5.3	5.4	4.8	0.7
	26	51.4	4.3	5.6	29.2	3.2	0.4	(0.5)	5.5	5.3	5.1	0.7
	27	49.7	4.3	5.9	30.2	2.5	0.4	(0.6)	5.8	4.9	4.3	0.7
	28	↓47.0	3.9	5.7	↑31.0	3.1	0.3	1.6	5.5	4.6	4.6	0.6
平成 28 年度 全国		48.9	3.2	3.7	31.5	2.4	0.8	1.8	6.1	12.9		1.4
中学校	平成 18	55.3	3.0	4.2	49.5	4.2	1.1	(0.5)	2.1	3.6	4.9	0.3
	24	42.4	2.4	4.7	53.4	3.1	1.0	(0.5)	3.3	4.8	5.3	0.4
	25	39.5	2.2	4.9	53.6	2.5	0.9	(0.9)	3.6	4.0	4.8	0.4
	26	38.4	2.2	4.5	53.9	2.7	1.4	(0.8)	3.7	3.8	4.9	0.3
	27	36.4	2.2	4.4	54.6	3.1	1.1	(0.8)	3.9	3.6	4.8	0.4
	28	↓33.7	2.4	4.4	↑56.3	3.4	1.0	4.0	4.1	3.2	5.0	0.4
平成 28 年度 全国		37.5	2.7	2.9	54.6	3.3	2.6	3.4	4.5	11.5		0.7
高等学校	平成 18	68.0	1.6	1.1	62.4	4.3	1.0	(0.5)	1.0	2.3	6.0	0.2
	24	52.8	1.5	1.5	65.9	3.6	0.4	(0.6)	1.6	1.8	6.7	0.2
	25	51.9	1.5	1.5	65.7	3.5	0.4	(0.7)	1.1	1.9	7.7	0.3
	26	49.3	1.4	1.4	66.2	3.1	0.5	(0.7)	1.2	1.6	7.7	0.2
	27	46.4	1.7	1.5	67.7	3.5	0.4	(0.6)	1.3	1.5	6.9	0.3
	28	↓43.4	1.4	1.4	↑68.4	3.4	0.4	2.2	1.6	1.9	8.2	0.2
平成 28 年度 全国		49.2	2.3	1.9	66.0	3.4	3.3	2.5	2.3	9.4		0.4

(注) 1 「裸眼視力1.0未満の者」には、コンタクトレンズ等を使用し、裸眼視力未実施の者を含む。

2 心電図は、小1、中1、高1で実施している。

3 「せき柱・胸郭・四肢の状態」については、平成27年度までは「せき柱・胸郭」のみ実施している。

(2) 疾病・異常の上位5位の状況



※ グラフ内の値は平成28年度値(%)

(3) むし歯(う歯)の処置状況

(単位：%)

区分	幼稚園		小学校		中学校		高等学校		
	28年度	18年度	28年度	18年度	28年度	18年度	28年度	18年度	
う歯のある者	27.2	49.4	47.0	67.8	33.7	55.3	43.4	68.0	
内訳	処置完了者	12.4	22.3	26.6	40.5	21.5	37.4	27.0	44.1
	未処置の者	14.8	27.1	20.4	27.3	12.2	17.9	16.4	24.0
	(未処置率)	(54.4)	(54.9)	(43.4)	(40.3)	(36.2)	(32.4)	(37.8)	(35.3)

(4) 12歳児の永久歯の1人当たり平均むし歯(う歯)数

(単位：本)

区分	長野県						全国
	18年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	28年度
全体	1.4	0.9	0.9	0.8	0.8	0.7	0.8
内訳	男子	1.3	0.8	0.8	0.8	0.7	0.8
	女子	1.5	1.0	0.9	0.9	0.8	0.9

4 健康課題

長野県における子どもたちの大きな健康課題は、視力低下とむし歯にある。

(1) 視力低下は、生活環境や生活習慣の変化によるところが大きいと考えられ、引き続き、保護者や学校医と連携し、改善に向け保健指導を推進する必要がある。

(2) 「むし歯」は減少傾向にあり、全国と比較しても良好であるが、「要観察歯（C O）」や「歯周疾患要観察者（G O）」を加えると、まだまだ大きな割合を占める状況にあり、また、「未処置者への指導」も必要であり、歯科保健の更なる向上を図る必要がある。

各学校は、医療関係者や地域保健機関と連携し、児童生徒の個別の健康課題に対処するとともに、保健委員会等において健診データを共有し、それぞれの健康課題を分析して疾病の未然防止に取り組んでいくことが求められている。